

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成
-----------	---	-------	-----	----	---------------------

施策統括部	教育部	関係課	商工振興課、秘書政策課
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象	市民や市の出身者	意図	合志市の歴史、伝統文化に対する愛着や誇りを持つ
----	----------	----	-------------------------

成果指標

名称		単位
A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕	%
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	1年度	評価	背景として考えられること	
A	%	48.7	成り行き値	48.7	48.7	48.7	48.7	○	市民アンケートの設問を「合志市の歴史、伝統文化に興味を持っている市民の割合」に修正したことにより、意見の広がりが生じたものと思われる。
			目標値	49.3	49.9	50.5	51.1		
			実績値	41.1	40.3	52.2			
B	%	72.0	成り行き値	72.0	72.0	72.0	72.0	×	市民アンケートの設問を「歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている市民の割合」に修正したことにより、意見の狭まりが生じたものと思われる。
			目標値	72.5	73.0	73.5	74.0		
			実績値	74.6	67.8	45.0			
C	%	61.1	成り行き値	61.1	61.1	61.1	61.1	×	市民アンケートの設問を「歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを持っている市民の割合」に修正したことにより、意見の狭まりが生じたものと思われる。
			目標値	61.4	61.7	62.0	62.3		
			実績値	62.3	57.5	35.2			
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			28年度	29年度	30年度	1年度
事務事業数		本数	7	8	6	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	10,000	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	22	487	39
		繰入金	千円	0	0	0
		一般財源	千円	9,494	20,363	14,183
事業費計(A)		千円	9,516	30,850	14,222	
(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	
人件費	延べ業務時間	時間	718	3,465	1,808	
	人件費計(B)	千円	2,683	13,708	7,127	
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,199	44,558	21,349	0

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

・地域で伝承されてきた伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行う団体の継承者の育成を支援します。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア)市民(事業所、地域、団体)の役割

・市民は、昔から伝えられてきた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、新しい文化を創造し伝えます。
 ・地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって住民間の連帯感を高めます。
 ・企業や事業所は、地域行事に積極的に参加し協力を行います。

イ)行政の役割(市がやるべきこと)

・市は、文化財の保護、保存と施設の管理を適切に行います。
 ・市は、文化財や施設について、市民への啓発に努め、活用促進を図ります。
 ・市は、取り組んでいる地域の実情に応じた支援を行います。
 ・市は、学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、資料館での特別展やまちめぐりふるさと探訪バスなどの充実に努め、文化財や伝統芸能の周知を図り、伝統文化である祭り等の支援を行うことと過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は51.1%に設定しました。
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状でも72.0%と水準は高いと考えますが、今後も指定文化財の掘り起こしや啓発に努めていくことで、郷土の再発見をしてもらう機会が増えることと、過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は74.0%に設定しました。
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状では61.1%の人が誇りを感じており、子どもたちが地域や学校で、歴史や伝統文化に触れ合う機会を設け、理解を深めてもらうことで、子どもたちを含め地域でも誇りを持ってもらえることと、過去の、実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は62.3%に設定しました。
D	

【4】施策の現状と今後の状況変化

- ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向け、両館の収蔵物調査を進め、収蔵、展示方法、出土品作業等の機能やあり方の検討が必要で
- す。
- ・文化財の標柱や案内板等が、老朽化による腐食や損傷が進んでおり、分かりづらくなってきています。
- ・伝統的郷土芸能や歴史的祭りの保存・継承活動を行う団体の会員の高齢化により、存続も難しくなっています。

【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(平成30年度(平成29年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ①歴史資料館、図書館、マンガミュージアムを活かして、郷土に愛着を持つ市民を増やすこと
- ②案内板、美化作業等により文化財の環境整備に努めること

(平成30年度(平成29年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ①引き続き、観光と一体化して取り組むなど文化財の周知を検討すること
- ②市の歴史や伝統に関することを周知する工夫をすること
- ③地元出身者を活かした郷土愛につながる活動を検討すること

4 施策の評価

【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)平成30年度の経営方針からの振り返りは、以下のとおり。

①「市の歴史・伝統・文化財等に関心を持たれるような環境整備に努め、郷土愛の醸成に資するような取り組みを引き続き進める。」については、地元地域による文化財の清掃管理をお願いし、明るく見やすい環境が保たれている。指定地以外の清掃管理についても地区との協議を行なった。併せて標柱や説明看板の点検を行ない、随時、修繕を施すことによって文化財の周知と普及活用にも努めた。

②「歴史・伝統・文化財施設の適切な保存・維持管理を適正に行うとともに、市民及び市外への周知啓発の工夫と改善に努める。」については、旧西合志郷土資料館や御代志市民センター周辺に残る資料館所蔵品等の整理を行なった。仮の収蔵庫として利用している旧給食センター内も整理を行なったが依然として収蔵施設としては適さない環境にある。寄付などにより山積された民具を識者による調査を行なった。

③「小中学生の学習の場や一般成人向けのふるさと探訪バス等の充実を図り、親しめる機会の提供に努める。」については、ふるさと探訪バスでは、西南戦争をめぐる広い範囲のもの、合志市にゆかりのあるもの、歩いてめぐる散策など3回実施した。子ども歴史科学体験教室は子どもに人気の講座を9回実施した。また、やさしい歴史教室として、歴史資料館長による講話を3回実施した。

④「伝統文化の継承者と後継者の育成を行い、保存団体等の活動を引き続き支援していく。」については、各地域にある伝統芸能団体への活動支援として補助金の交付を行なった。活動ができていない、または後継者不足などの課題を抱える団体については、一つひとつ現状と課題の分析をする必要がある。

⑤「歴史資料館やマンガミュージアムの内容を充実させるとともに、史跡をめぐるコースの設定等を通じた総合的な整備の検討を進める。」については、歴史資料館の展示内容のリニューアルに伴い、特別展を大小7回開催した。マンガミュージアムにおいては、定期的な企画展とイベントを開催し、3月には来館者5万人に達した。また、ふるさと探訪まちめぐりにおいて、年に1回ではあるが歩いて回るコースを設定し、地元の婦人会による昼食のおもてなしを受け、交流を行なった。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、平成30年度施策の成果を向上させるために貢献した事務事業として、合志市歴史資料館運営事業があげられた。

【2】施策の課題

- ・地域の文化財等を案内するボランティアガイドを育成します。
- ・伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者を育成します。
- ・新しい住民への地域や文化財等を紹介する啓発活動を行います。

5 施策の30年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて 7月22日・23日)

- ①より合志市の歴史・文化を身近なものにするよう取り組むこと。
- ②合志市歴史資料館として内容の充実を図ること。
- ③遺跡、史跡など市民が関心を持てるよう環境整備を図ること。
- ④指定文化財の継承・育成のため地域の支援を図ること。
- ⑤マンガミュージアムは図書館と連携して指定管理制度を活用し、双方の魅力を引き出すよう工夫すること。

② 総合政策審議会での指摘事項(令和元年8月8日、20日、29日まとめ)

- ①観光と一体化して文化財の周知啓発を推進すること
- ②市の歴史や文化をさらに周知していく工夫をすること
- ③後継者の育成を支援すること
- ④地元出身者を活かした取り組みを通して郷土愛につなげていくこと

③ 議会の行政評価における指摘事項(令和元年9月10日)

- ①歴史資料館、図書館、マンガミュージアムが連携することで、郷土に愛着を持つ市民を増やすこと
- ②案内板設置や、美化作業等により文化財の環境整備に努めること
- ③他自治体と連携し新たな文化や伝統行事に取り組み、市民の情操教育に努めること
- ④合志市の出身者に向けて、歴史・伝統・文化をアピールすること

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 令和2年度合志市経営方針(令和元年9月27日)

- ①郷土愛の醸成に資するため、市の歴史・伝統・文化財等をより身近に感じ、更に関心を持たれるような環境整備と情報発信に努める。
- ②歴史・伝統・文化財施設の保存・維持管理を適正に行い、市民及び市外への分かりやすい周知啓発の工夫に努める。
- ③歴史資料館では図書館及びマンガミュージアムとの連携や内容充実を図り、合志市の歴史・伝統・文化の魅力を引き出す工夫を行う。
- ④小中学生の学習の場や一般成人向けに親しめる機会の提供に努めるとともに、伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者育成を支援する。